

# 社会保障教育モデル授業副教材（案）

厚生労働省 政策統括官（総合政策担当）

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

- 社会保障全体について考える
- 公的医療保険制度①
- 公的医療保険制度②
- 公的年金保険制度①

# わたしたちの生活と社会保障制度

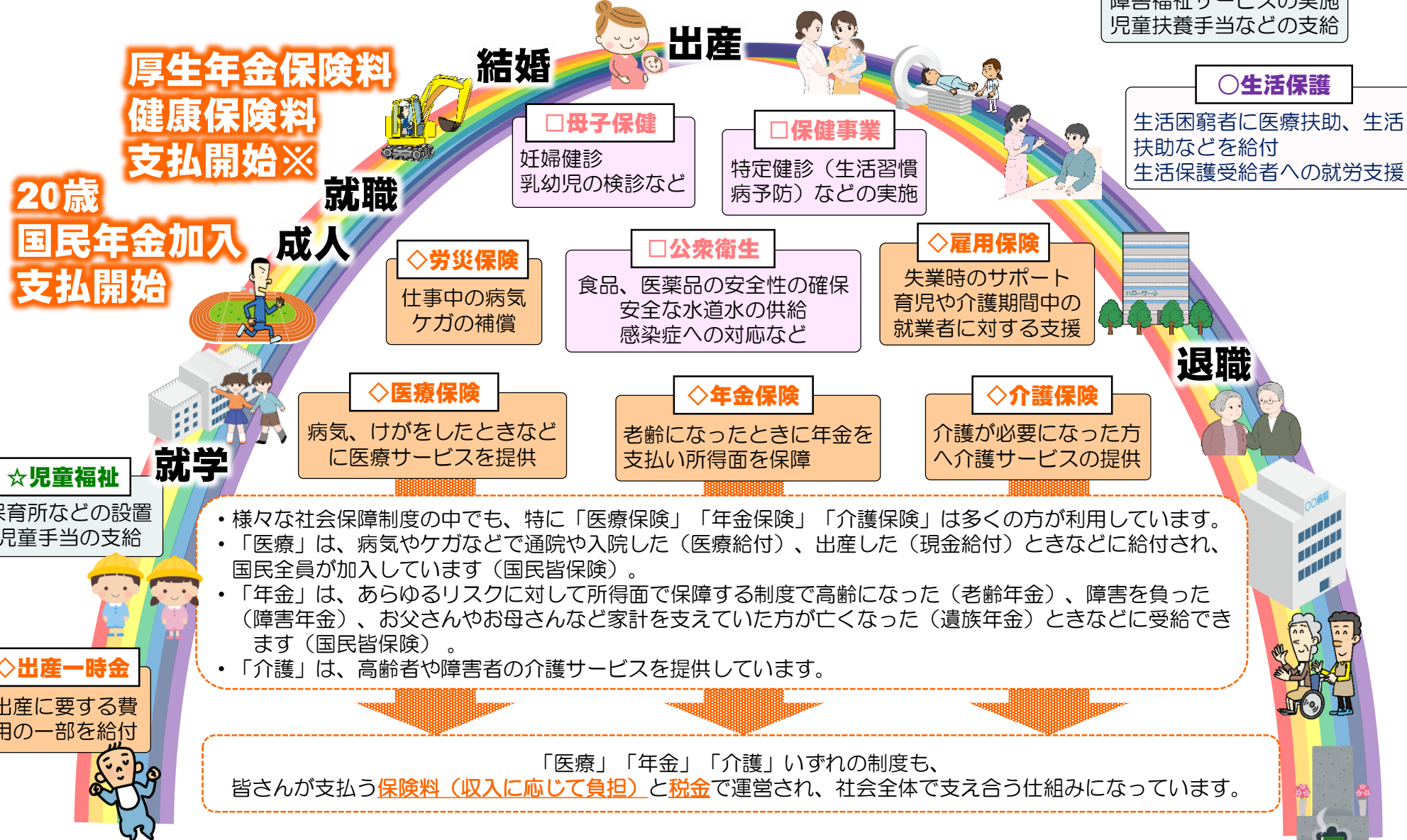
わたしたちの安定した生活に欠かせない社会保障制度。日々の「安心」の確保や生活の「安定」を図るための制度であり、一生を通じてわたしたちの生活を支える役割を担っています。

## ☆社会福祉

高齢者の居住環境の整備  
障害福祉サービスの実施  
児童扶養手当などの支給

## ○生活保護

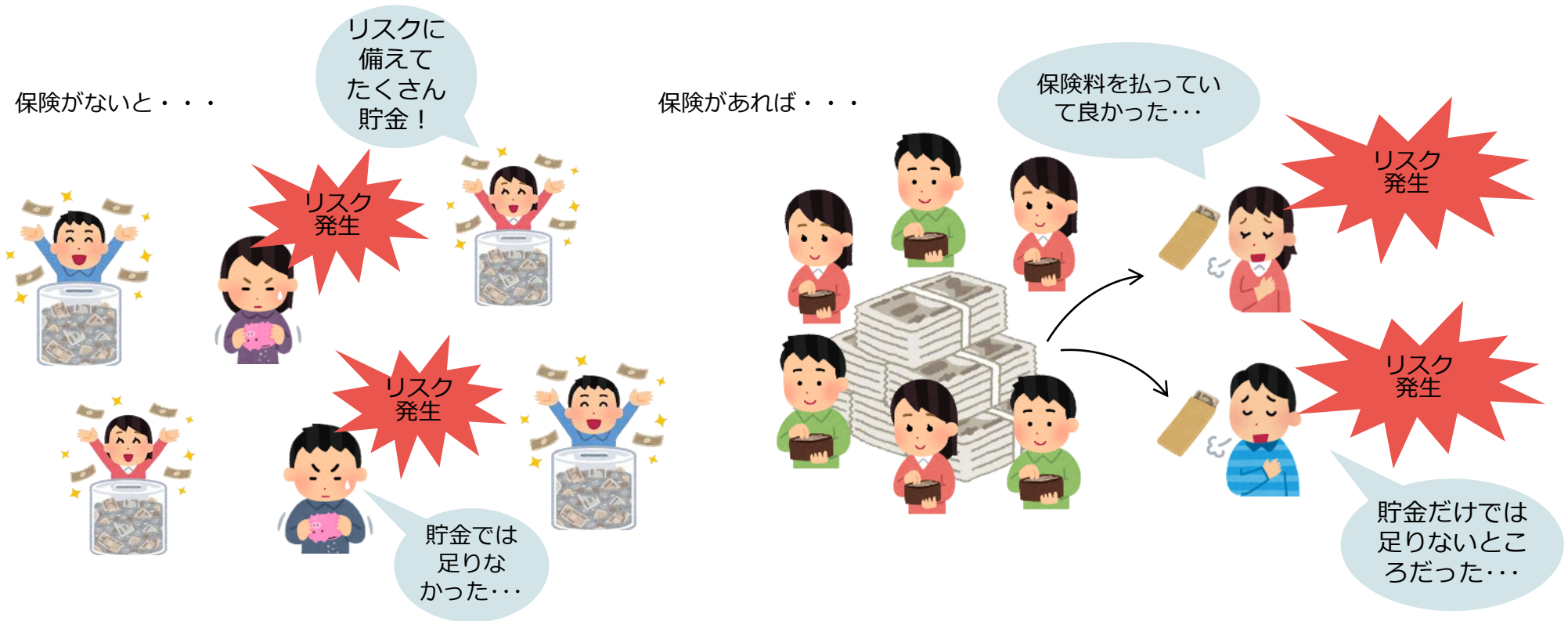
生活困窮者に医療扶助、生活扶助などを給付  
生活保護受給者への就労支援



※自営業者は国民年金保険料・国民健康保険料

# 社会保険とは？

「保険」とは、誰もが人生のなかで遭遇する可能性のある様々なリスク（病気・ケガ・退職や失業による無収入・長生きなど。これを「**保険事故**」という。）に備えて、人々が集まって集団（**保険集団**）をつくり、あらかじめお金（**保険料**）を出し合って、保険事故にあった人に必要なお金やサービスを支給する仕組み



⇒社会全体でこのような「保険」の仕組みを作るのが「**社会保険**」

## 社会保障全体について考えてみよう。

あなたはどのような人生を送りたいですか。また、人生を送る上でどのような予期せぬ困難に直面する可能性があるか考えてみよう。

回答欄

ライフイベントや予期せぬ困難に直面した際、あなたはどのように対応するか考えてみよう。

回答欄

前ページ「わたしたちの生活と社会保障」を参考に、社会保障制度がなかったら私たちの生活はどうか考えてみよう。

回答欄

## 社会保障全体について考えてみよう。

あなたはどのような人生を送りたいですか。また、人生を送る上でどのような予期せぬ困難に直面する可能性があるか考えてみよう。

### 回答欄

(回答例)

- ・ 将来結婚して、幸せな家庭を築きたい。年を重ねても旅行や趣味等に時間を費やし、健康で暮らし続けたい。
- ・ 予期せぬリストラで失業する可能性がある。大病や大けがにより入院する可能性がある。

ライフイベントや予期せぬ困難に直面した際、あなたはどのように対応するか考えてみよう。

### 回答欄

(回答例)

- ・ 妊娠・出産：妊婦健診や乳幼児検診、復職後に保育サービスを活用
- ・ 失業：失業給付を利用。 ・ 病気になった場合は、医療保険を活用し医療サービスを受ける。

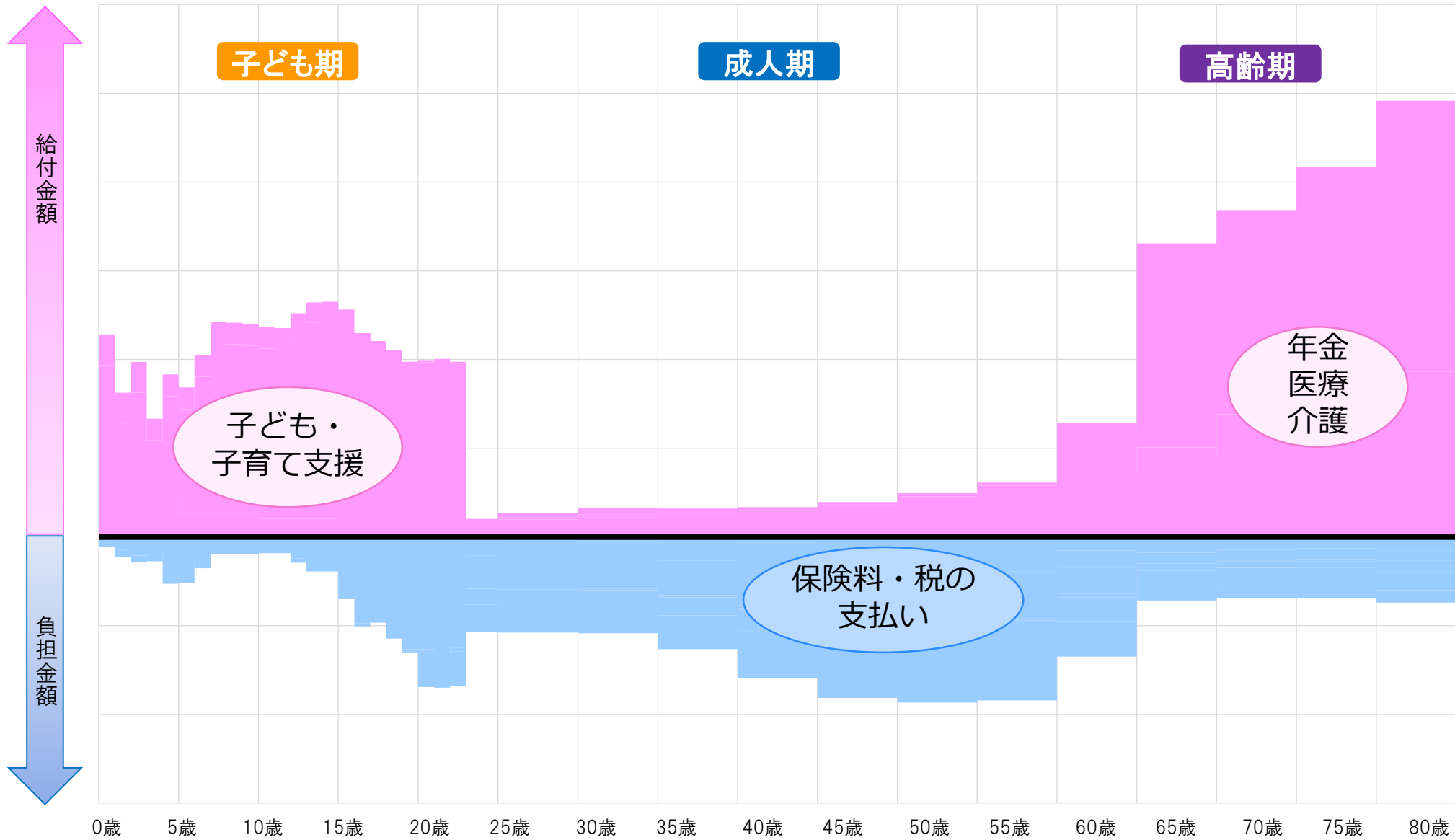
前ページ「わたしたちの生活と社会保障」を参考に、社会保障制度がなかったら私たちの生活はどうなるか考えてみよう。

### 回答欄

(回答例)

- ・ 今後の長い人生の様々なリスクに備えることができず、安心して暮らすことができない。
- ・ 仮に、仕事に就けず貧困に陥れば社会から孤立してしまう可能性がある。

# ライフサイクルでみた社会保障の給付と負担のイメージ



# 2

- 社会保障全体について考える
- 公的医療保険制度①
- 公的医療保険制度②
- 公的年金保険制度①



# 窓口で保険証を提示した場合、あなたが支払う金額はいくらでしょうか？

## ケース 1

突然高熱が出たあなた。近くの病院の内科でインフルエンザB型と診断され、薬も含めて治療代は全部で1万円になりました。

## 回答欄

## ケース 2

マラソン中に転倒し大腿骨骨折の大ケガ。手術をして1ヶ月入院。治療代は全部で150万円になりました。

## 回答欄

# 窓口で保険証を提示した場合、あなたが支払う金額はいくらでしょうか？

## ケース 1

突然高熱が出たあなた。近くの病院の内科でインフルエンザB型と診断され、薬も含めて治療代は全部で1万円になりました。

## 回答欄

(回答例)

- 3割負担だから、3,000円。皆保険制度で公的医療保険に入っているから、窓口での自己負担は3割になる。

## ケース 2

マラソン中に転倒し大腿骨骨折の大ケガ。手術をして1ヶ月入院。治療代は全部で150万円になりました。

## 回答欄

(回答例)

- 3割負担なので、原則として50万円を支払わなければならないが、高額な負担となった場合、負担額を頭打ちとする制度がある。これを利用した場合、通常1ヶ月8万円程度で済む。

## 医療サービスについて領収書や診療明細書から分かることを探ってみよう

医療機関にかかった時のことを思い出してみよう。窓口でお金を払った時に受け取った領収書や診療明細書から何がわかるか。

回答欄

領収書や診療明細書から実際の医療費がいくらかかっているか確認してみよう。

回答欄

確認してみて分かったことや感じたことについてメモしよう。

回答欄

# 医療サービスについて領収書や診療明細書から分かることを探ってみよう

医療機関にかかった際には、領収書や診療明細書が発行されます。

運動中に肩を壊し、定期的に医療機関にかかっている高校生のある日の領収書や診療明細書を見てみましょう。

## 領収書の例

## 領 収 証

患者番号	氏 名	請求期間
01220	医療 太郎 様	令和2年6月30日

受診科	入・外	領収書No.	発行日	費用区分	負担割合	本・家	区分
整形	外来	1000013	令和2年6月30日	社保	3割	家族	010

保 険	初・再診料	入院料等	医学管理等	在宅医療	検 査	画像診断	投 薬
	74点	点	点	点	点	1,630点	点
	注 射	リハビリテーション	精神科専門療法	処 置	手 術	麻 酔	放射線治療
	点	485点	点	点	点	点	点
	病理診断	診断群分類 (DPC)	食事療養	生活療養			
点	点	円	円				

保険外負担	評価療養・選定療養	その他		保 険	保 険 (食事・生活)	保険外負担
				合 計	21,890円	円
	(内訳)	(内訳)		負担額	6,567円	円
				領収額 合 計		

※厚生労働省が定める診療報酬や薬価等には、医療機関等が仕入れ時に負担する消費税が反映されています。

# 医療サービスについて領収書や診療明細書から分かることを探ってみよう

## 診療明細書の例

## 診療明細書

患者番号	01220	氏名	医療 太郎	受診日	2020/6/30
受診科	整形外科				

部	項目名	点数	回数
再診・外来診療料	* 外来診療料	74	1
画像診断料	* 画像診断管理加算2(コンピューター断層診断) * MRI撮影(1.5テスラ以上3テスラ未満の機器) 撮影部位(MRI撮影):肩 電子画像管理加算(コンピューター断層診断料) 撮影回数 1回	1,450	1
リハビリ テーション	* 運動器リハビリテーション料(I) * リハビリテーション総合計画評価料1 * 運動器 発症日 2年 5月 1日 疾患名(運動器リハビリテーション料):右 肩関節唇損傷	185 300	1 1

MRIによる  
画像診断

※厚生労働省が定める診療報酬や薬価等には、医療機関等が仕入れ時に負担する消費税が反映されています。



東京都千代田区霞が関 1-2-2  
霞が関病院 霞が関 花子

- ・リハビリテーション：「リハビリ」のこと。
- ・肩関節唇：関節のまわりに唇のように付着している軟骨のこと。例えば、野球の投球やテニスのサーブなどで肩を酷使した際に、損傷が起こりやすいといわれている。

## 医療サービスについて領収書や診療明細書から分かることを探ってみよう

医療機関にかかった時のことを思い出してみよう。窓口でお金を払った時に受け取った領収書や診療明細書から何がわかるか。

回答欄

(回答例)

- ・ 診療内容と費用。

領収書や診療明細書から実際の医療費がいくらかかっているか確認してみよう。

回答欄

(回答例)

- ・ 実際の医療費は2万1890円。領収書や診療明細書では、1点10円になっている。

確認してみて分かったことや感じたことについてメモしよう。

回答欄

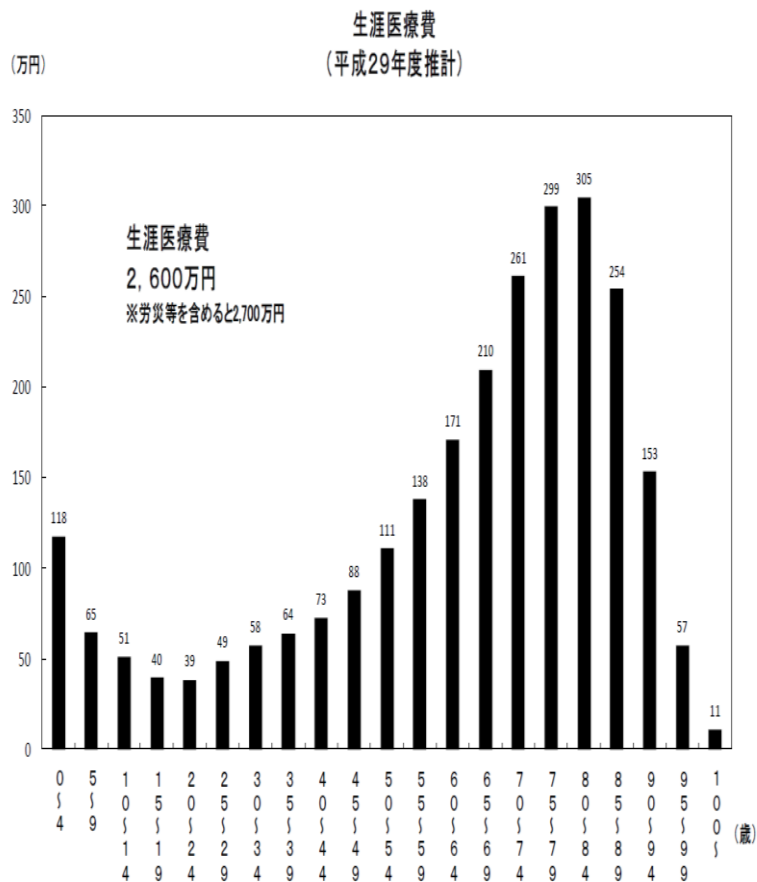
(回答例)

- ・ 支払っている医療費よりも実際の医療費は大きいと感じた。公的な医療保険制度があってよかったと思った。

# 国民皆保険制度の必要性について考えよう

## 生涯医療費

生涯医療費 (=一生涯でかかると考えられる医療費の平均。死亡率を考慮したもの) は、約2,600万円となる。



(注) 平成29年度の年齢階級別一人当たり医療費をもとに、平成29年簡易生命表による定常人口を適用して推計したものである。

生涯医療費のグラフから読み取れることは何でしょうか。

回答欄

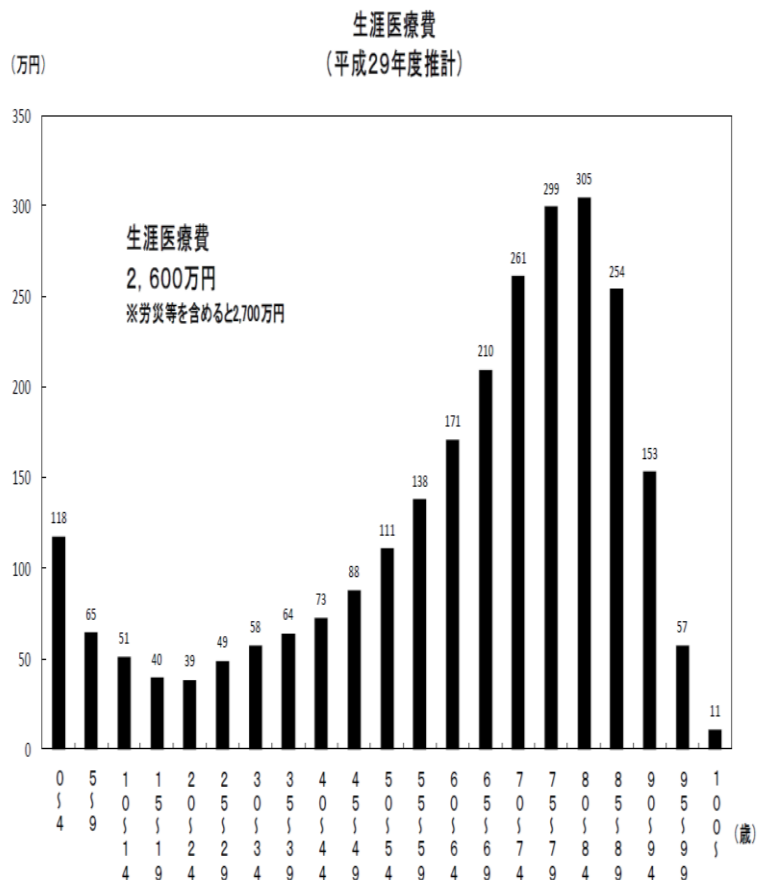
国民皆保険制度の必要性について考えてみよう。

回答欄

# 国民皆保険制度の必要性について考えよう

## 生涯医療費

生涯医療費 (=一生涯でかかると考えられる医療費の平均。死亡率を考慮したもの) は、約2,600万円となる。



(注) 平成29年度の年齢階級別一人当たり医療費をもとに、平成29年簡易生命表による定常人口を適用して推計したものである。

10

生涯医療費のグラフから読み取れることは何でしょうか。

### 回答欄

(回答例)

- 高齢になるにつれて医療費が増大していく傾向にある。
- 若いうちも医療費は一定かかっている。

国民皆保険制度の必要性について考えてみよう。

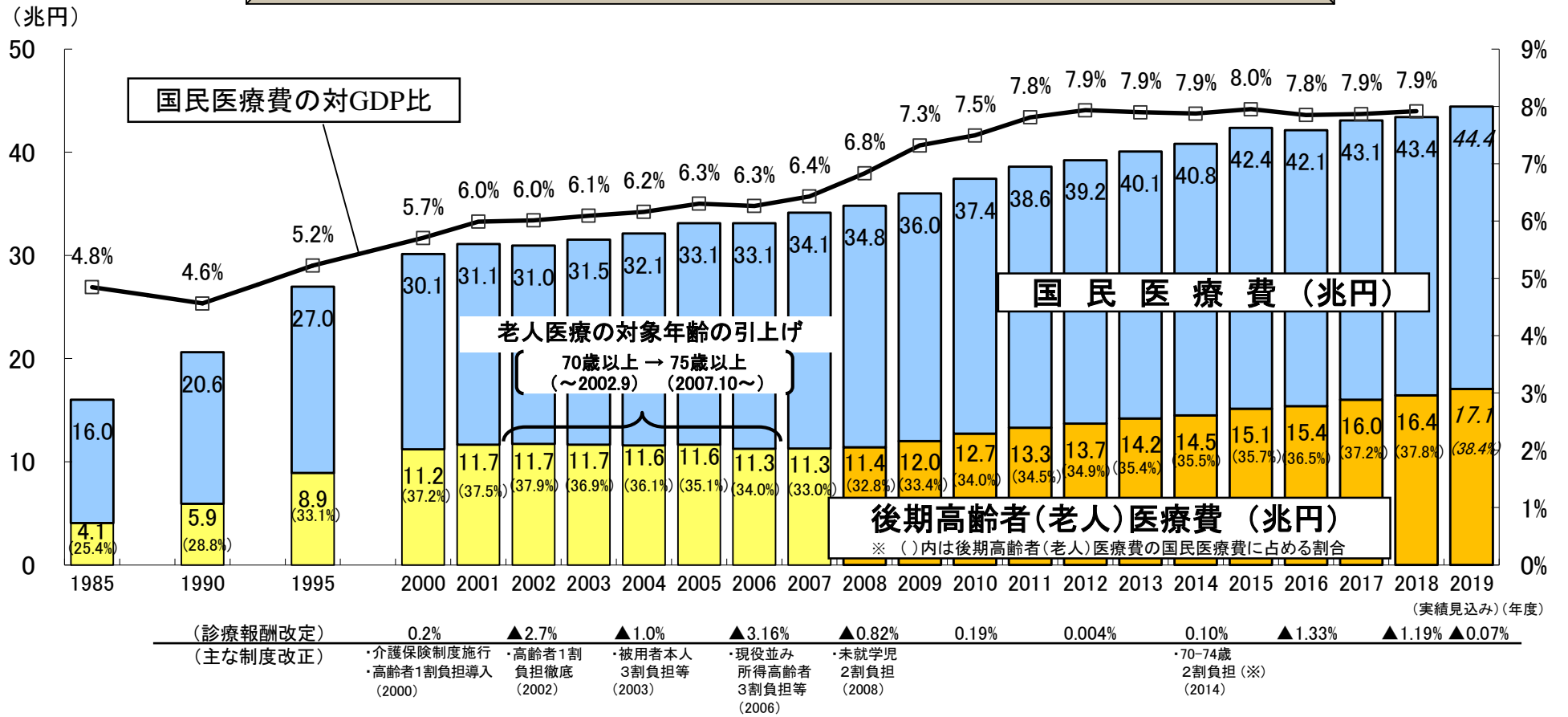
### 回答欄

(回答例)

- 国民皆保険制度は所得や個人が抱えるリスクを問わず、保険料をきちんと拠出していれば、いつでも、誰でも、医療が受けられる。



# 医療費の動向



## <対前年度伸び率>

	1985	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
	(S60)	(H2)	(H7)	(H12)	(H13)	(H14)	(H15)	(H16)	(H17)	(H18)	(H19)	(H20)	(H21)	(H22)	(H23)	(H24)	(H25)	(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)
国民医療費	6.1	4.5	4.5	▲1.8	3.2	▲0.5	1.9	1.8	3.2	▲0.0	3.0	2.0	3.4	3.9	3.1	1.6	2.2	1.9	3.8	▲0.5	2.2	0.8	2.4
後期高齢者(老人)医療費	12.7	6.6	9.3	▲5.1	4.1	0.6	▲0.7	▲0.7	0.6	▲3.3	0.1	1.2	5.2	5.9	4.5	3.0	3.6	2.1	4.4	1.6	4.2	2.5	3.9
GDP	7.2	8.6	2.7	1.2	▲1.8	▲0.8	0.6	0.7	0.8	0.6	0.4	▲4.0	▲3.4	1.5	▲1.1	0.1	2.6	2.2	2.8	0.8	2.0	0.1	—

注1 GDPは内閣府発表の国民経済計算による。

注2 2019年度の国民医療費(及び後期高齢者医療費。以下同じ。)は実績見込みである。2019年度分は、2018年度の国民医療費に2019年度の概算医療費の伸び率(上表の斜字体)を乗じることによって推計している。

(※)70-74歳の者の一部負担金割合の予算凍結措置解除(1割→2割)。2014年4月以降新たに70歳に達した者から2割とし、同年3月までに70歳に達した者は1割に据え置く。

## 医療資源の効率的な使い方について

限りある医療資源について個人として何ができるか考えてみよう。

メモ欄

グループに分かれて、考えたことを発表しよう。  
発表を通じて感じたことや分かったことについてメモしよう。

メモ欄

# 医療資源の効率的な使い方について

限りある医療資源について個人として何ができるか考えてみよう。

## メモ欄

(回答例)

- 健康に気をつける。
- かかりつけ医に相談する。
- 過剰な病院受診（ハシゴ受診）を控える。

グループに分かれて、考えたことを発表しよう。  
発表を通じて感じたことや分かったことについてメモしよう。

## メモ欄

(回答例)

- 他の人から発言のあった、①ジェネリック医薬品を活用することや②市販薬で代替できる医薬品（湿布薬、うがい薬、保湿剤等）について、市販薬を購入することを私も実践したい。
- 同じ病気で必要以上に複数の病院に行くハシゴ受診は問題だが、場合によっては主治医以外の医師による助言（セカンドオピニオン）も必要ではないかという意見があった。この場合でも、何度も行う必要のない検査については、主治医が行った検査結果を次の病院に持っていくなど、工夫できることはあると思った。
- 窓口負担以外の分は、保険料や税金でまかなわれているので、多くの支え手によって担われていることを意識して、持続可能な制度にする必要があると思った。

## 公的医療保険制度を維持するためには？

公的医療保険制度を維持するために、個人の努力だけではなく、社会として何ができるかを考えてみよう。

メモ欄

グループに分かれて、考えたことを発表しよう。  
発表を通じて感じたことや分かったことについてメモしよう。

メモ欄

## 公的医療保険制度を維持するためには？

公的医療保険制度を維持するために、個人の努力だけではなく、社会として何ができるかを考えてみよう。

### メモ欄

(回答例)

- ・ 保険料や自己負担割合を見直す。
- ・ 市販薬で代替できる薬については、保険適用を見直す。
- ・ 医療費の伸びを、経済の伸び率などの一定の範囲に収めるよう調整する。

グループに分かれて、考えたことを発表しよう。  
発表を通じて感じたことや分かったことについてメモしよう。

### メモ欄

(回答例)

- ・ 医療は、一旦、病気や要介護となれば、必ず必要となるものであり、伸びを機械的に調整すると、限界を超えた利用者負担や国民の健康水準の低下を招くのではないかという意見があった。
- ・ 能力に応じた負担が重要であり、高齢になっても働いている人が増えていることや、金融資産にも着目することで、持続可能性が高められるのではないかという意見があった。
- ・ 少子高齢化が進む中で、子どもや子育てにも着目して、全ての世代が安心できる社会保障制度を考えていくべきとの意見があった。自分達も当事者としての意識をもって、議論に参加していきたい。

# 3

- 社会保障全体について考える
- 公的医療保険制度①
- 公的医療保険制度②
- 公的年金保険制度①

## 窓口で保険証を提示した場合、あなたが支払う金額はいくらでしょうか？

### ケース 1

突然高熱が出たあなた。近くの病院の内科でインフルエンザB型と診断され、薬も含めて治療代は全部で1万円になりました。

### 回答欄

### ケース 2

マラソン中に転倒し大腿骨骨折の大ケガ。手術をして1ヶ月入院。治療代は全部で150万円になりました。

### 回答欄

# 窓口で保険証を提示した場合、あなたが支払う金額はいくらでしょうか？

## ケース 1

突然高熱が出たあなた。近くの病院の内科でインフルエンザB型と診断され、薬も含めて治療代は全部で1万円になりました。

## 回答欄

(回答例)

- 3割負担だから、3,000円。皆保険制度で公的医療保険に入っているから、窓口での自己負担は3割になる。

## ケース 2

マラソン中に転倒し大腿骨骨折の大ケガ。手術をして1ヶ月入院。治療代は全部で150万円になりました。

## 回答欄

(回答例)

- 3割負担なので、原則として50万円を支払わなければならないが、高額な負担となった場合、負担額を頭打ちとする制度がある。これを利用した場合、通常1ヶ月8万円程度で済む。



## 医療サービスについて領収書や診療明細書から分かることを探ってみよう

医療機関にかかった時のことを思い出してみよう。窓口でお金を払った時に受け取った領収書や診療明細書から何がわかるか。

回答欄

領収書や診療明細書から実際の医療費がいくらかかっているか確認してみよう。

回答欄

確認してみて分かったことや感じたことについてメモしよう。

回答欄

# 医療サービスについて領収書や診療明細書から分かることを探ってみよう

医療機関にかかった際には、領収書や診療明細書が発行されます。

運動中に肩を壊し、定期的に医療機関にかかっている高校生のある日の領収書や診療明細書を見てみましょう。

## 領収書の例

## 領 収 証

患者番号	氏 名	請求期間
01220	医療 太郎 様	令和2年6月30日

受診科	入・外	領収書No.	発行日	費用区分	負担割合	本・家	区分
整形	外来	1000013	令和2年6月30日	社保	3割	家族	010

保 険	初・再診料	入院料等	医学管理等	在宅医療	検 査	画像診断	投 薬
	74点	点	点	点	点	1,630点	点
	注 射	リハビリテーション	精神科専門療法	処 置	手 術	麻 酔	放射線治療
	点	485点	点	点	点	点	点
	病理診断	診断群分類 (DPC)	食事療養	生活療養			
点	点	円	円				

保険外負担	評価療養・選定療養	その他		保 険	保 険 (食事・生活)	保険外負担
				合 計	21,890円	円
	(内訳)	(内訳)		負担額	6,567円	円
				領収額 合 計		

※厚生労働省が定める診療報酬や薬価等には、医療機関等が仕入れ時に負担する消費税が反映されています。

# 医療サービスについて領収書や診療明細書から分かることを探ってみよう

## 診療明細書の例

## 診療明細書

入院外		保険			
患者番号	01220	氏名	医療 太郎	受診日	2020/6/30
受診科	整形外科				

部	項目名	点数	回数
再診・外来診療料	* 外来診療料	74	1
画像診断料	* 画像診断管理加算2(コンピューター断層診断) * MRI撮影(1.5テスラ以上3テスラ未満の機器) 撮影部位(MRI撮影):肩 電子画像管理加算(コンピューター断層診断料) 撮影回数 1回	1,450	1
リハビリ テーション	* 運動器リハビリテーション料(I) * リハビリテーション総合計画評価料1 * 運動器 発症日 2年 5月 1日 疾患名(運動器リハビリテーション料):右 肩関節唇損傷	185 300	1 1

MRIによる  
画像診断

※厚生労働省が定める診療報酬や薬価等には、医療機関等が仕入れ時に負担する消費税が反映されています。



東京都千代田区霞が関 1-2-2  
霞が関病院 霞が関 花子

- ・リハビリテーション：「リハビリ」のこと。
- ・肩関節唇：関節のまわりに唇のように付着している軟骨のこと。例えば、野球の投球やテニスのサーブなどで肩を酷使した際に、損傷が起こりやすいといわれている。

## 医療サービスについて領収書や診療明細書から分かることを探ってみよう

医療機関にかかった時のことを思い出してみよう。窓口でお金を払った時に受け取った領収書や診療明細書から何がわかるか。

回答欄

(回答例)

- ・ 診療内容と費用。

領収書や診療明細書から実際の医療費がいくらかかっているか確認してみよう。

回答欄

(回答例)

- ・ 実際の医療費は2万1890円。領収書や診療明細書では、1点10円になっている。

確認してみて分かったことや感じたことについてメモしよう。

回答欄

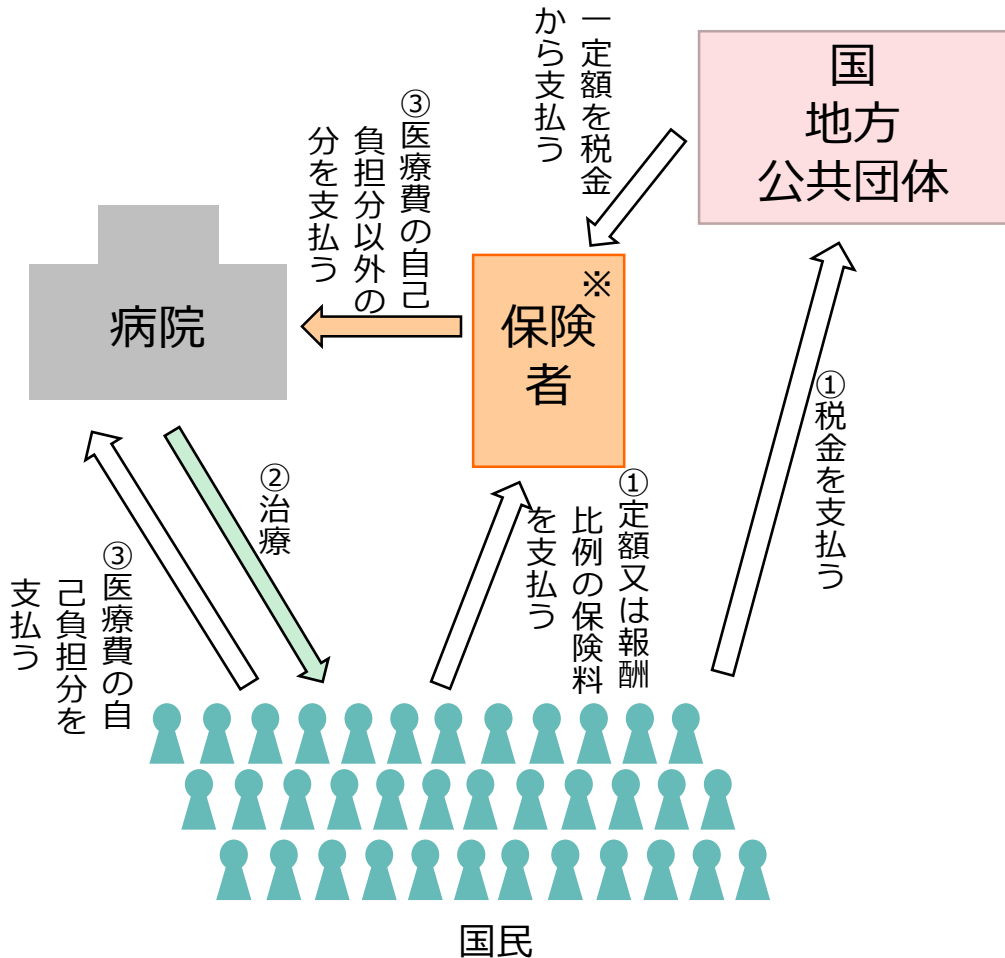
(回答例)

- ・ 支払っている医療費よりも実際の医療費は大きいと感じた。公的な医療保険制度があってよかったと思った。

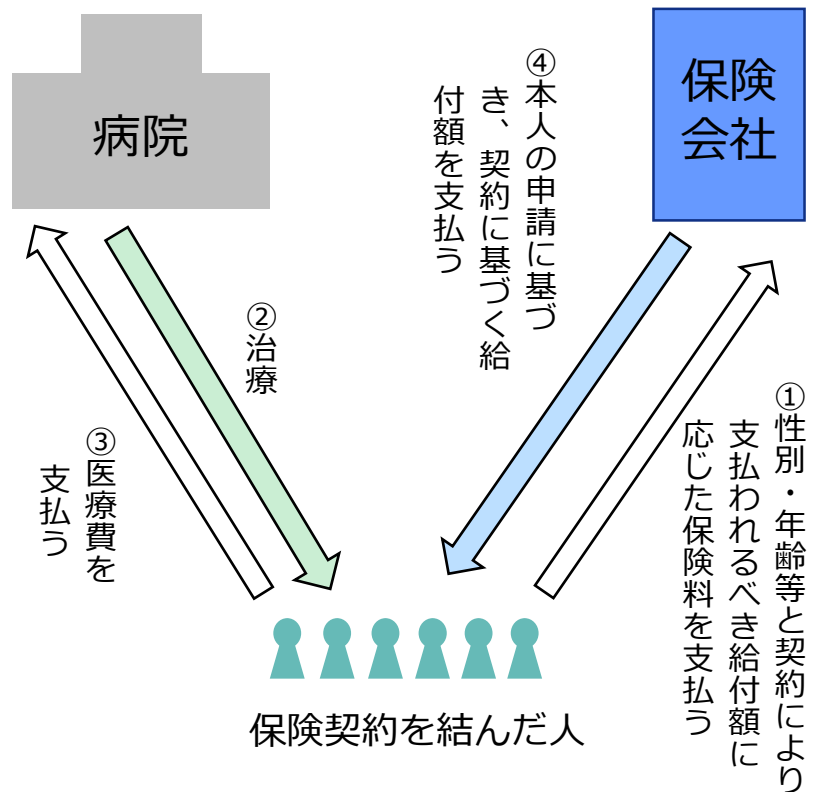
# 公的医療保険と民間医療保険の違いについて

公的医療保険と民間医療保険の仕組みの違いを理解しよう。

## 公的医療保険



## 民間医療保険



※国民健康保険は市町村、健康保険は各企業の健康保険組合又は協会けんぽ

# 公的医療保険と民間医療保険の違いについて

民間保険会社の医療保険商品の年齢別月額保険料の例を確認してみよう。

**病気等で入院した場合に1日当たり5000円の給付を受ける**ためには、契約した民間保険会社に**1か月の保険料をいくら支払う必要があるのか**を見てみましょう。今回の例では、契約時に決められた保険料を死亡するまで支払い続ける方法（終身払）となっていて、一生涯に渡って保障が続きます。

## 男性（1か月あたり保険料）

特約あり※	特約なし※
○高校生の時に契約した場合 16歳…1,700円 17歳…1,800円 18歳…1,900円	○高校生の時に契約した場合 16歳…1,500円 17歳…1,600円 18歳…1,700円
○高齢者になってから契約した場合 65歳…12,300円 70歳…16,400円 75歳…21,700円	○高齢者になってから契約した場合 65歳…6,100円 70歳…7,400円 75歳…9,100円

## 女性（1か月あたり保険料）

特約あり※	特約なし※
○高校生の時に契約した場合 16歳…2,000円 17歳…2,100円 18歳…2,200円	○高校生の時に契約した場合 16歳…1,800円 17歳…1,800円 18歳…1,900円
○高齢者になってから契約した場合 65歳…7,600円 70歳…9,400円 75歳…11,900円	○高齢者になってから契約した場合 65歳…4,600円 70歳…5,400円 75歳…6,400円

※特約ありで契約した場合、三大疾病等になったときでもその後の保険料支払いが免除されます。

民間保険会社は、契約者の様々なニーズに対応するべく手厚い保障（先進医療技術など高額な手術費用に対する保障が付帯できるものなど）を多く準備します。性別・契約年齢時毎に1か月の保険料が異なりますが、それらを組み合わせるか否かは支払い能力に応じて契約者で選択することになります。

# 公的医療保険と民間医療保険の違いについて

公的医療保険と民間医療保険の違いについて、考えてみよう。

	公的医療保険	民間医療保険
加入は任意か義務か。 加入できないことはあるか。	<ul style="list-style-type: none"><li>義務。法律によって加入が義務付けられている。</li><li>病気や障害を抱えている人でも、賃金等の負担能力に応じた保険料で保険に継続的に加入し、必要な給付を受けることができる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>任意。</li><li>持病や既往歴がある場合は加入できないことがある。</li></ul>
給付の水準は。	<ul style="list-style-type: none"><li>最低保障</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>個人の希望と支払い能力に応じてより高い水準が可能</li></ul>
どんな考えに基づいて 運営されているか。	<ul style="list-style-type: none"><li>社会的妥当性を強調 (社会連帯、扶助原理)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>個人的公平性を強調 (保険原理、貢献原理)</li></ul>
市場にただ一つ存在するか、 複数存在するか。	<ul style="list-style-type: none"><li>政府が独占している</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>複数存在し、民間企業が競争している</li></ul>
費用はどのように まかなわれているか。	<ul style="list-style-type: none"><li>公費補助あり。 被用者保険の場合は、保険料は事業主と被保険者で折半</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>保険料のみ</li></ul>
個々の保険料は どのように決まるか。	<ul style="list-style-type: none"><li>賃金等の負担能力などに応じたもの。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>年齢、性別ごとのリスクに応じた保険料。 高齢の人は保険料が高くなる傾向にある。</li></ul>

## 公的医療保険と民間医療保険の違いについて

「公的医療保険制度」がなく、「民間医療保険」のみ存在する場合どういった問題が生じるか考えてみよう。

メモ欄

グループに分かれて、考えたことを発表しよう。  
発表を通じて感じたことや分かったことについてメモしよう。

メモ欄



## 公的医療保険と民間医療保険の違いについて

「公的医療保険制度」がなく、「民間医療保険」のみ存在する場合どういった問題が生じるか考えてみよう。

### メモ欄

(回答例)

- 高齢などリスクの高い人は、高い保険料を支払うことになる。
- 収入が少ない人は、必要な保険に加入できない。
- 持病や既往歴があるひとは加入できないことがある。
- 期限が定められている保険もあるため、その後の保障がされないこともある。

グループに分かれて、考えたことを発表しよう。  
発表を通じて感じたことや分かったことについてメモしよう。

### メモ欄

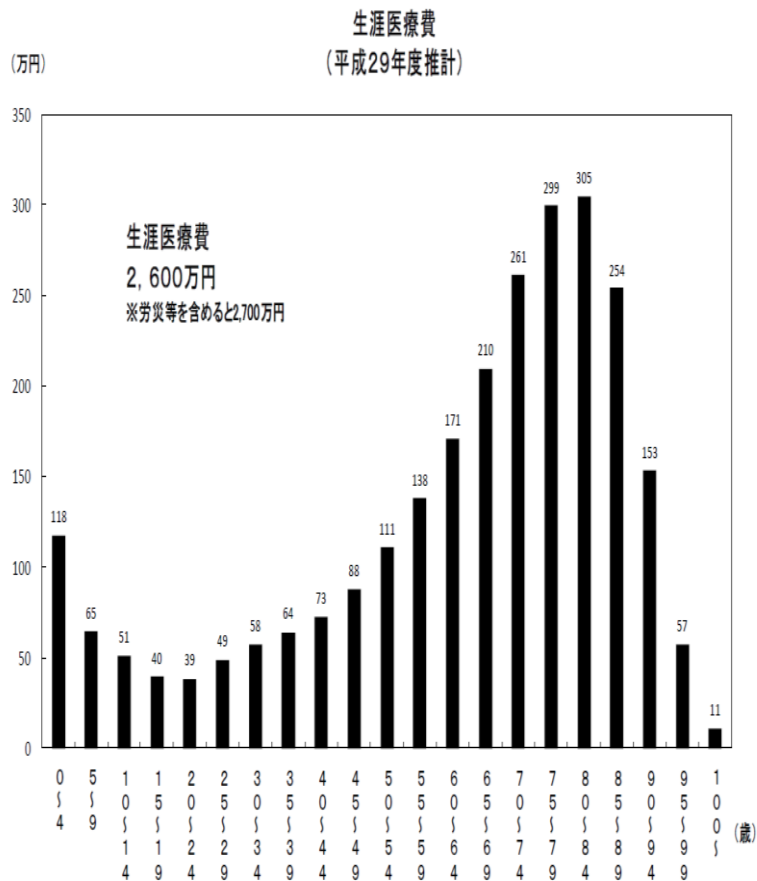
(回答例)

- 保険料を支払える人は民間医療保険で保障されるが、支払えないと何も保障されないことに問題があると感じた。
- 公的医療保険は年齢・性別に関係なく賃金等の負担能力などに応じた保険料の支払いになっているため、安心できる制度であると感じた。
- 公的医療保険の重要性が分かったため、きちんと保険料を支払わなければならないことが分かった。

# 国民皆保険制度の必要性について考えよう

## 生涯医療費

生涯医療費 (=一生涯でかかると考えられる医療費の平均。死亡率を考慮したもの) は、約2,600万円となる。



(注) 平成29年度の年齢階級別一人当たり医療費をもとに、平成29年簡易生命表による定常人口を適用して推計したものである。

生涯医療費のグラフから読み取れることは何でしょうか。

回答欄

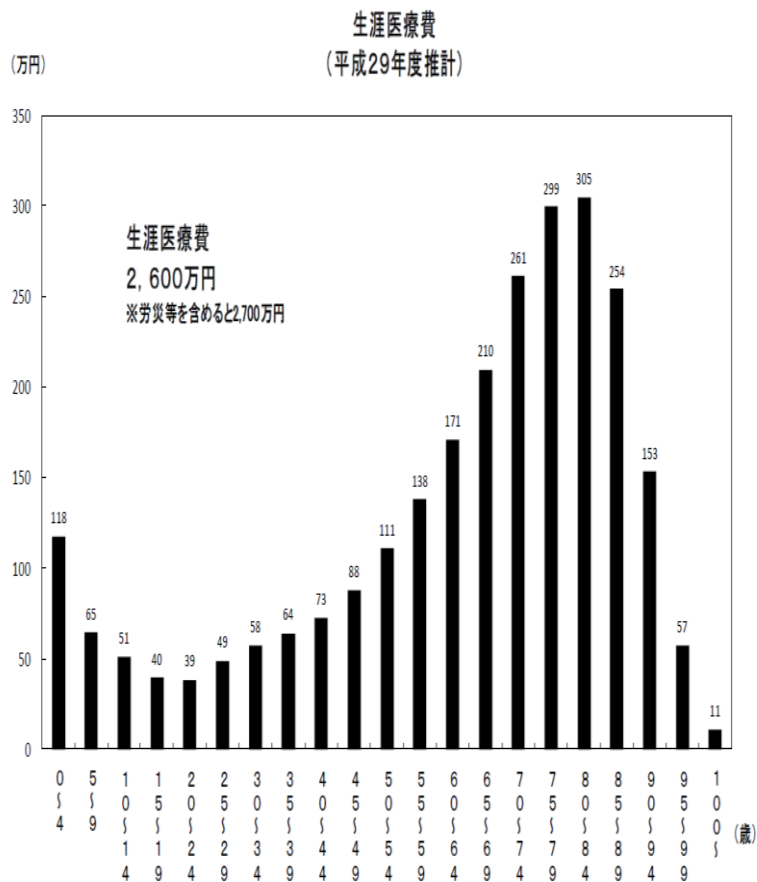
国民皆保険制度の必要性について考えてみよう。

回答欄

# 国民皆保険制度の必要性について考えよう

## 生涯医療費

生涯医療費 (=一生涯でかかると考えられる医療費の平均。死亡率を考慮したもの) は、約2,600万円となる。



(注) 平成29年度の年齢階級別一人当たり医療費をもとに、平成29年簡易生命表による定常人口を適用して推計したものである。

生涯医療費のグラフから読み取れることは何でしょうか。

### 回答欄

(回答例)

- 高齢になるにつれて医療費が増大していく傾向にある。
- 若いうちも医療費は一定かかっている。

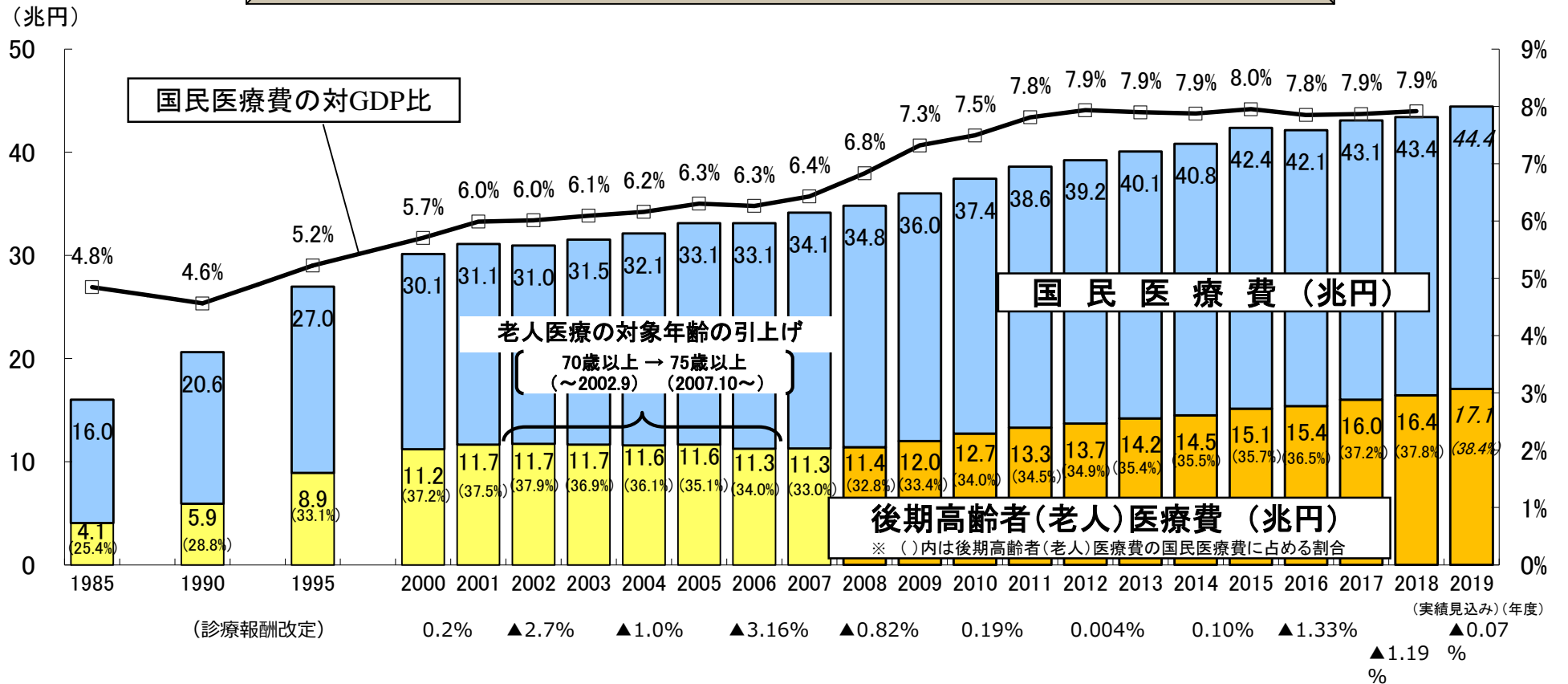
国民皆保険制度の必要性について考えてみよう。

### 回答欄

(回答例)

- 国民皆保険制度は所得や個人が抱えるリスクを問わず、保険料をきちんと拠出していれば、いつでも、誰でも、医療が受けられる。

# 医療費の動向



(主な制度改正)

- ・介護保険制度施行
- ・高齢者1割負担導入 (2000)
- ・高齢者1割負担導入 負担徹底 (2002)
- ・被用者本人3割負担等 (2003)
- ・現役並み所得高齢者3割負担等 (2006)
- ・未就学児2割負担 (2008)
- ・70-74歳2割負担 (※) (2014)

<対前年度伸び率>

	1985	1990	1995	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
	(S60)	(H2)	(H7)	(H12)	(H13)	(H14)	(H15)	(H16)	(H17)	(H18)	(H19)	(H20)	(H21)	(H22)	(H23)	(H24)	(H25)	(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(R1)
国民医療費	6.1	4.5	4.5	▲1.8	3.2	▲0.5	1.9	1.8	3.2	▲0.0	3.0	2.0	3.4	3.9	3.1	1.6	2.2	1.9	3.8	▲0.5	2.2	0.8	2.4
後期高齢者(老人)医療費	12.7	6.6	9.3	▲5.1	4.1	0.6	▲0.7	▲0.7	0.6	▲3.3	0.1	1.2	5.2	5.9	4.5	3.0	3.6	2.1	4.4	1.6	4.2	2.5	3.9
GDP	7.2	8.6	2.7	1.2	▲1.8	▲0.8	0.6	0.7	0.8	0.6	0.4	▲4.0	▲3.4	1.5	▲1.1	0.1	2.6	2.2	2.8	0.8	2.0	0.1	-

注1 GDPは内閣府発表の国民経済計算による。

注2 2019年度の国民医療費(及び後期高齢者医療費。)は実績見込みである。2019年度分は、2018年度の国民医療費に2019年度の概算医療費の伸び率(上表の斜字体)を乗じることによって推計している。

(※)70-74歳の者の一部負担割合の予算凍結措置解除(1割→2割)。2014年4月以降新たに70歳に達した者から2割とし、同年3月までに70歳に達した者は1割に据え置く。

## 高額な医療を公的な医療保険の対象とすることについて

日本の公的医療保険制度では、保険の対象となる医薬品とその「薬価」が定められています。現在、画期的な新薬として、数千万円するような新薬も登場していますが、そういった高額な新薬を保険適用することについて、どう考えますか。

メモ欄

グループに分かれて、考えたことを発表しよう。  
発表を通じて感じたことや分かったことについてメモしよう。

メモ欄

# 主な高額医薬品について

代表的な薬と対象疾患について、その薬価と対象者数を確認してみよう。

品目 ( )内は対象疾患	薬価	対象者数
オプジーボ (がん)	<当初> 皮膚がんでは 1人当たり年間：1,269万円 用法用量：2mg/kgを3週間間隔で投与	470人※1 (皮膚がん)
	<現在> 1人当たり年間：955万円 用法用量：240mgを2週間間隔で投与	約25,000人※2 (肺がん、腎がん、胃がん等に拡大)
キムリア (白血病)	3,265万円 用法用量：単回使用	216人※1
ゾルゲンスマ (乳幼児の難病)	1億6,707万円 用法用量：単回使用	25人※1

※1 中央社会保険医療協議会資料より

※2 小野薬品工業(株)公表資料より推計

令和3年8月時点

## 高額な医療を公的な医療保険の対象とすることについて

日本の公的医療保険制度では、保険の対象となる医薬品とその「薬価」が定められています。現在、画期的な新薬として、数千万円するような新薬も登場していますが、そういった高額な新薬を保険適用することについて、どう考えますか。

### メモ欄

(回答例)

- 誰もが受けたい医療を受けられるよう、公的な医療保険制度はできる限り多くの治療法を給付対象とすべきなので、賛成だが、より安い治療法があるのであれば、そちらを使うようにすべき。

グループに分かれて、考えたことを発表しよう。  
発表を通じて感じたことや分かったことについてメモしよう。

### メモ欄

(回答例)

- 保険適用すべきという人と、すべきでないという人で意見が分かれた。命に関わる問題であり、誰もが公的な医療保険制度のなかで受けたい医療を受けられるべきという意見もあったが、その結果として高額な医療を受ける人が増えてしまえば、医療保険財政が破綻してしまい、結局全員が医療保険を使えなくなってしまう、という議論になった。
- 風邪が1000万円で治る薬は保険適用する必要はないが、命に関わるような難病が3000万円で治る薬であれば保険適用してもいいのではないかと、という意見が興味深かったが、その細かい線引きは難しいと思った。

## 医療資源の効率的な使い方について

医療費負担軽減にインセンティブを持たせるため、健康な人に保険料を軽減する仕組みを導入したらどうなるか、考えてみよう。

メモ欄

グループに分かれて、考えたことを発表しよう。  
発表を通じて感じたことや分かったことについてメモしよう。

メモ欄



## 医療資源の効率的な使い方について

医療費負担軽減にインセンティブを持たせるため、健康な人に保険料を軽減する仕組みを導入したらどうなるか、考えてみよう。

### メモ欄

#### (回答例)

- 病気にかかったときに保険料が上がるため、安心して生活を送ることができない。
- 健康保険加入者の保険料収入が減るため、国・地方公共団体の負担が増えることや医療保険制度そのものの運営が厳しくなることが考えられる。

グループに分かれて、考えたことを発表しよう。  
発表を通じて感じたことや分かったことについてメモしよう。

### メモ欄

#### (回答例)

- 不健康な生活を送ったことで医療にかかる頻度が多くなった人と、健康な生活を送ったことで医療にかかる頻度が低い人が、保険料などで同程度の負担を求められる制度だと、健康な生活を送るインセンティブが起きづらいのではないかとの意見があった。
- 他方、健康は自身ではどうしようもない要因があり、そうした場合に本人が保険料を多く負担することは不公平ではないかという意見があった。今の日本の制度のように、健康か健康でないかによって、保険制度から排除されず、それにより保険料額が増えることがない制度は公平であると思った。
- インセンティブがあることで皆がより健康になろうと頑張ると考えられるため、個人に着目した形以外で制度に取り組むことができないかとの意見もあった。

# 4

- 社会保障全体について考える
- 公的医療保険制度①
- 公的医療保険制度②
- 公的年金保険制度①

# 公的年金制度の意義について理解しよう

## 1 問目

年金保険料を払うのは何歳からでしょう？

- ①国民全員 ②原則20歳から ③原則60歳から

## 2 問目

年金の保険料を払っていた人が、老齢年金をもらえるのはいつからでしょう？

- ①原則20歳から ②原則65歳から ③原則40歳から

## 3 問目

もし、あなたが結婚して子どもがいた場合、事故などで30代で亡くなった場合、あなたが払った年金の保険料は払い損となるのでしょうか。

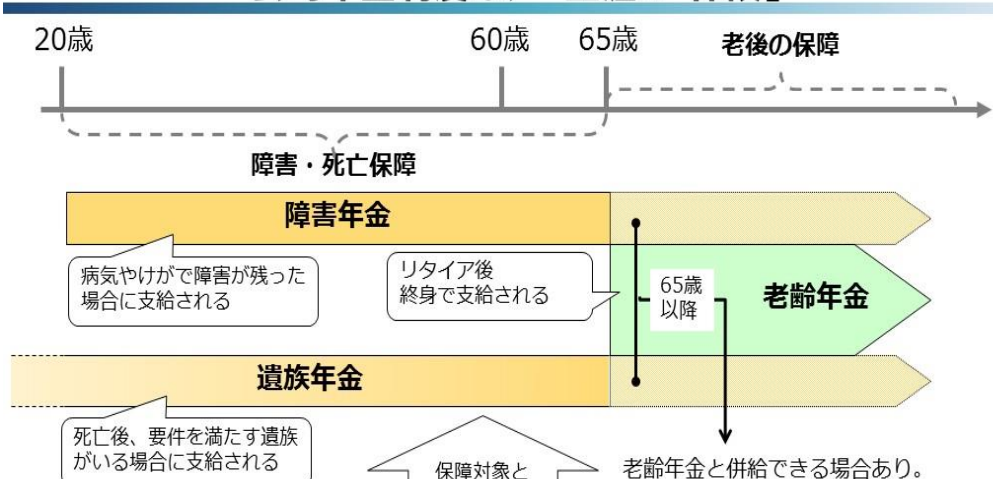
- ①払い損となる ②必ずしも払い損にはならない

# 公的年金制度の意義について理解しよう（回答編）

(答え)

- 1 問目 ②原則20歳から
- 2 問目 ②原則65歳から
- 3 問目 ②必ずしも払い損にはならない

## 公的年金制度は、一生涯の「保険」



ただし

受給要件を満たしていないと、年金は支給されない  
障害年金・遺族年金：事故発生時の直近1年間に保険料の未納がないこと(注)  
老齢年金：原則10年(※)以上の加入期間があること(※平成29年8月から「25年→10年」に短縮)

※障害年金・遺族年金は要件に該当しなくなると支給されなくなる場合がある。  
(注)事故発生以前、保険料の未納期間が3分の1未満の場合も受給要件を満たすことができる。

5

年金を受給するためには、「年金保険料」という形で、原則20歳から保険料を払う必要がある。(1問目)

公的年金には、年を取ってから受け取る「老齢年金」があり、原則65歳から受給することが可能。(2問目) そのほかに、障害を負ったときに受け取る「障害年金」、お父さんやお母さんなど家計を支えていた方が亡くなり、収入が得られなくなったときに受け取る「遺族年金」がある。

「遺族年金」については、仮に被保険者が早く亡くなったとしても、家族が年金を受け取ることができる(3問目。)

## 「私と年金」エッセイを読んでもみよう（老齢年金）

令和元年度 受賞作品（60代女性）

職をリタイアした私ですが、友人たちとのランチ会での話題は、親や自分の介護をどうするかとか、年金受給についてです。だいたいいくら受給できるのかとは、大きな大きな関心事です。

年金制度発足時は、強制加入ではなかったそうです。一九八五年に強制加入制度が発足。基礎年金制度スタートで社会保障が進められていくことになったと記録がありました。

私は、思い当たることがありました。山奥の小さな小学校に臨時で就職した頃に、手取り給料の計算をしていた教頭先生から、「貯金とは違うかもしれないが、年老いてから、助かるぞ。だまされたと思うはずないから、手続きしてみたら。」と、よく分からない説明でしたが、少ない給料から天引きされることになりました。これが私の年金とのきっかけです。当時は、選択でしたから、このお金があったらなあと思ったことも思い出されます。年金制度の歴史と照らし合わせると、数年後に強制加入による基礎年金制度がスタートしたことになります。私は、教頭先生のすすめにより、少し早く年金を掛けていくことになったのです。まだ、基礎年金受給をしていませんが、きっと笑顔で給付の日を待てるかなと思っています。

それにしても、自己反省です。もっと国の政策、年金事情に若い頃から感心をもつべきでした。受給対象になってから情報集めをしたり、先に受給している人から教えてもらったりです。年金関係の書類が送付されて、いざ記入の時も、不明なことばもたくさんあって不安でしたので、街角年金相談に出かけ教えていただきました。一つ一ついいいに説明があり助けられました。

家族でも年金について話題になるようになりました。私の実家は、小さな店を経営しておりました。従業員は、二十才代の方を二名雇用していたと記憶があります。そのうちの一人の方が、他界した父のためにお線香をあげに来訪してくれました。お茶を飲みながら思い出を語ってくれたその方は、父には感謝と、しきりに語りました。若い頃に給料から引き去られた年金が途切れなかったの、ありがたいとの話でした。小さな店で、安い給料での年金引き去りは、当時は、なんでなんだと思ったこともあったようですが、七十才を過ぎた今、安定した額をいただき満足とのこと。母は、手取り額は増やしたいが、将来を考えてと引き去り決意の思い出を話していました。店の経営もたいへんだった頃なのに年金について従業員の先のことまでをよく勉強していたものだとは九十近い母に拍手を贈りました。

年金の仕組みについて、学生時代に習ったような気もしますが、六十才の自分が先のことすぎて実感も関心もさほどなかったことが本音です。多くの方もそうだと思います。給料から、こんなに引き去らなくてもいいのにと考えたことも事実です。

若者が年金受給について、マイナスの意見を唱えることが多いです。しかし、受給者、受給を控えている者たちが、実際は、このような歴史があるのだとか、苦労もあったとか感謝もたくさんと伝えていく必要があると思いました。六十才は、まだ先のことだと考えるのは、まちがいだと痛感しています。

私と年金のきっかけは、二十代前半の職場上司のアドバイス。そして、親が生き抜くために、苦しい店の経営環境からも従業員の方に感謝されるまで考えぬいた決断。年金と共に歩んだ歴史を大切にしながら、受給していきたいと思いました。また、我が子にも、まだまだ先と言うことなく考えさせていこうと切実に実感しました。

日本の社会保障が身近にあることを世代を超えて伝えることが大切だと思いました。

エッセイを読んで理解したことを書いてみよう。

## 「私と年金」エッセイを読んでもみよう（遺族年金）

令和2年度 受賞作品（高校生）

私は、今まで年金についての知識や関心が全くなく、なぜこのような制度が日本にあるのか、考えたことがなかった。しかし、私は中学三年生になってから、年金に興味を持つようになった。それは、父の死がきっかけであった。

私の父は、心臓の病で急に亡くなってしまった。私はまだ十五歳。高校受験を控えた大切な時期に、大切な存在を失ってしまった。私と母は途方に暮れた。父が亡くなったことにより、記入する書類が増えた。そこには、遺族年金に関する書類があった。私はそこで初めて、消費税や住民税等の税金以外に、年金があることを知った。遺族年金とは、一家の働き手が亡くなったとき、子のある配偶者、または子が、国民年金から「遺族基礎年金」を受け取ることができる仕組みである。これを利用して今、高校の学費を払い、通学することができている。そして、私は進路を大学に進学することに決めた。それは、この遺族年金があったおかげだと思っている。

そして先日、日本年金機構の方が、講義をしに来てくださった。その方は、過去に自身の難病によって、長年悩まされてきたが、障害年金という制度があったおかげで、病に負けず克服し、また通常の生活に戻ることができたそうだ。大切な人の死や、自身の重い病に挫けそうになり、生活が十分に送れなくなってしまう。そのようなときに、私たちを助けてくれる年金という存在を、改めてありがたく感じた。

今まで私は、年金について深く考えたことがなく、一部の人がしか利用できないのではという、マイナスなイメージしかなかった。しかし、年金に生活を助けてもらってからは、年金に感謝をしている。私たちが、日頃から納めている税金や年金が、私たちの生活を巡り巡って、より便利に、豊かにしてくれていることを実感したからだ。

世の中には、税金や年金の滞納によって、将来自分の身に何かあったときに、保護が受けられない人もいる。そのようになってしまうと、生活の仕方やその人の今後の人生に、大きな影響がでてしまう。私はまだ十八歳で、税金や年金にあまり関わってこなかった。しかし、日本年金機構の方の講義や、自分の体験から、年金とは人を苦しみから救い、幸せにしてくれるものだ、今感じている。これから、納税者になる私たちが、年金についての正しい知識を持ち、否定的な意見を持つ人が、少しでも減るように年金の重要さを伝えていきたいと思った。

エッセイを読んで理解したことを書いてみよう。

# 「私と年金」エッセイを読んでみよう（障害年金）

令和2年度 受賞作品（高校生）

私は最初、年金と聞いて漠然と、「高齢者がもらうもの」だと思っていました。祖父母の口からよく年金という言葉を目にしていたからです。しかし、国民年金について調べていくうちに私は、年金のことを「温かい制度」だと考えるようになりました。

このエッセイを書くにあたって、まず初めに、母に「年金ってどういうもの？」と質問しました。すると母は、「将来、働けなくなったときのための保険みたいなものかな。」と言っていました。それに対して、私は一つのことを疑問に思いました。それは、「保険との違い」です。母の言う「将来の保険のようなもの」である年金と、一般に言う「保険」、何が違うのか。

気になったので、調べてみると、そこには大きな違いがあると感じました。それは、「人の温かさ」です。年金には、人の温かさがあると感じました。もし、予測していなかったことが自分の身に起こり、困っていたら助けられる。もし、自分では誰かが困っていたらその人を助けることができる。自分の将来の身を守るためだけの「保険」とは違い、「年金」は人と人が助け合える温かい制度だと思います。

年金のことを調べていくうちに、「障害年金」というものがあることを知りました。私の親戚にも、障害年金を受けとっている人がいます。私の祖母の姉です。祖母の姉は現在、七十二歳なのですが、三代のときから、慢性腎不全という病気を患っており、二日に一度のペースで、人工透析をしなければなりません。私が初めて、それを知ったとき祖母の姉のことをとても可哀想だと思うと同時に、世の中には、様々な病気で苦しんでいる人がたくさんいるのだと悲しい気持ちになりました。でも、私にできることは何もありません。祖母の姉は、東京で祖母の兄と一緒に住んでいます。祖母の姉は、透析の関係で私たちの住んでいる場所に、会いにくることはできないし、私たちも頻りに行くことはできません。可哀想だと思ってても何もすることのできない私は、とても無力です。でも、「障害年金」があることによって、祖母の姉の大きな助けになっていると思います。私は、病気になっていないし、苦しみも分からないから簡単なことは言えません。でも、「年金」という制度は、意識していないかもしれないけれど日常生活の中で自然と互いを支えているのだと思うのです。だから、「年金」は温かい制度だと感じました。

年金のことを「温かい制度」だと感じるようになってから、年金のことを「将来のための保険のようなものかな？」と言っていた母に伝えたくになりました。母に、自分の思ったことを伝えると「そんなに深く考えたことなかったな。言われてみると温かい制度やな。」と言っていました。私は、こんなにも温かい制度に、義務というもあるけれど加入している両親や、年金を納めているすべての大人を尊敬する気持ちになりました。

世の中には、自分の身に何も起こらなかつたら損じゃないか、と思う人もいます。まだ私は、お金を稼いでいないから、偉そうなことは言えないけど、年金のことを「温かい助け合いの制度」だと思えば、そんなことを思う人はいなくなると思います。また、年金を払い続けて何もなかったときに、「自分の身に何もなくて良かった」「誰かのためになった」と思うようにすれば素晴らしいと思います。

私は、このエッセイを書くにあたってほとんど無知だった年金について知ることができ、年金という制度に、プラスの感情をもちました。世の中には、私のような高校生や、大人の方々も含め、年金について詳しく知らないまま、ただ単に、マイナスのイメージだけをもっている人が多くいるのではないかと感じます。まずは、私のように知ることから始めてみて欲しいです。そうすれば絶対に、年金についてマイナスの感情をもっている人でもそれはなくなると思います。私は年金を納めてくださっている大人の方々に、素晴らしい制度に加入していることを誇りに思っています。

私は、大人になったら必ず年金に入ろうと思います。今は、まだ高校生で、年金を納められる年齢でなく助けられている側の人間です。日本に生まれた一国民として、周りの方々に恩返すためにも、助け合いの温かい制度を大切に、自分たちで守っていきたくです。

エッセイを読んで理解したことを書いてみよう。

# 公的年金制度の仕組みと必要性について理解しよう

## 1 問目

今から50年前のうどん 1 杯の値段は今と比べてどうだったでしょうか。

- ①今と変わらない ②高かった ③低かった

## 2 問目

今から50年後の物価はどうなっているでしょうか。

- ①変わらない ②上がっている ③下がっている ④分からない

## 3 問目

今から50年後にもらえる年金額はどうなっているでしょうか。

- ①変わらない ②上がっている ③下がっている  
④基本的には今後の物価や賃金によるため分からない。



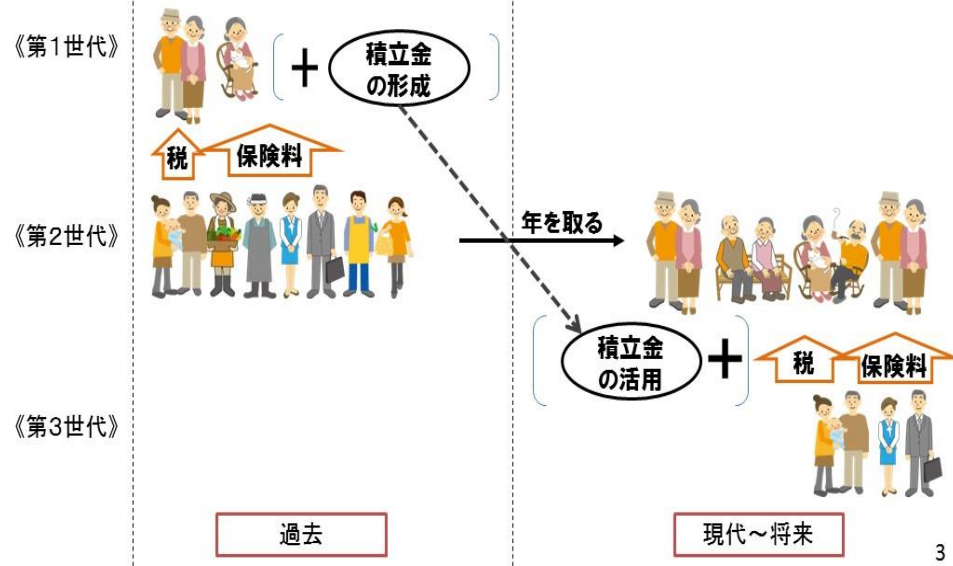
# 公的年金制度の仕組みと必要性について理解しよう（回答編）

（答え）

- 1 問目 ③低かった  
 2 問目 ④分からない  
 3 問目 ④基本的には今後の物価や賃金によるため分からない。

## 公的年金制度は、「仕送り」を社会化したもの

- 日本を含め先進各国の公的年金制度は、いずれも、現役世代が納めた保険料をその時々の高齢者の年金給付に充てる仕組み（＝賦課方式）を基本とした財政方式となっている。
- なお、我が国においては、将来の高齢化の進展に備え相当程度の積立金を保有し、その活用により、将来世代の保険料水準が高くなりすぎないように配慮している。



## 昔と今の物価

品 目	1965年	→	2021年
うどん	53.7円		595円(11倍)

（出典：小売物価統計調査）

## 積立方式と賦課方式の特徴

### 積立方式

- 民間保険と同様に、現役時代に積み立てた積立金を原資とすることにより、運用収入を活用できる
- インフレによる価値の目減りや運用環境の悪化があると、積立金と運用収入の範囲内でしか給付できないため、年金の削減が必要となる

積立方式は運用収入を活用できるが、経済変動に弱い（目減りの可能性がある）

### 賦課方式

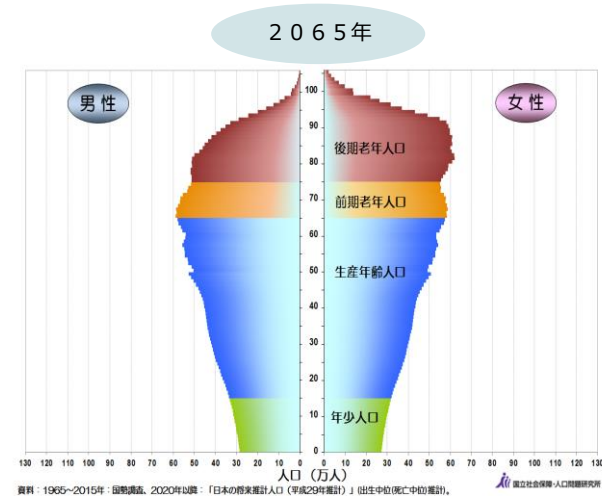
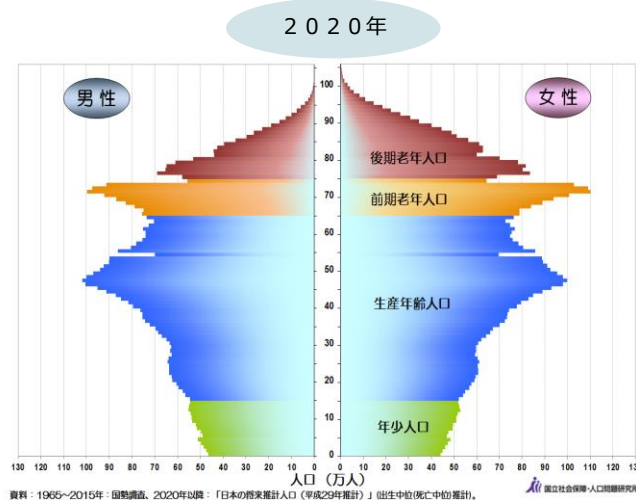
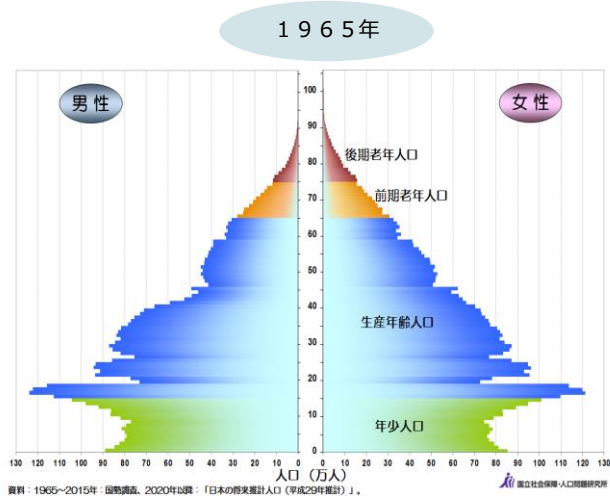
- 社会的扶養の仕組みであり、その時の現役世代の（給与からの）保険料を原資とするため、インフレや給与水準の変化に対応しやすい（価値が目減りににくい）
- 現役世代と年金受給世代の比率が変わると、保険料負担の増加や年金の削減が必要となる

賦課方式は経済変動に強い

公的年金の財政方式は、賦課方式を基本とした財政方式である。これは賦課方式と積立方式のよいところを組み合わせる方式で、積立金を活用することによって、賦課方式のデメリットを補っている。

# 少子高齢社会における公的年金制度

人口ピラミッドから何が分かるでしょうか。



少子高齢社会が公的年金制度に与える影響について考えてみよう。

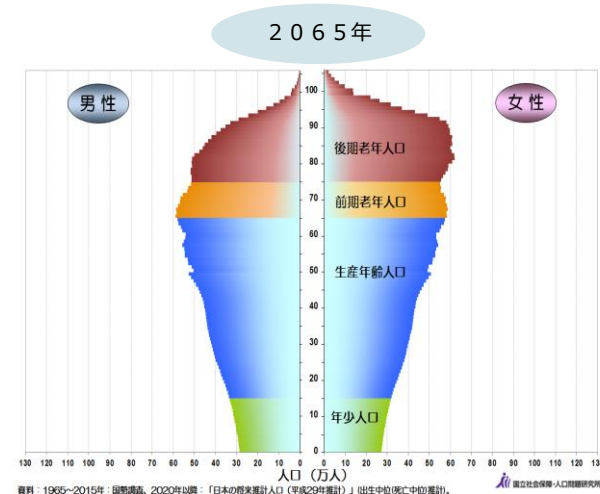
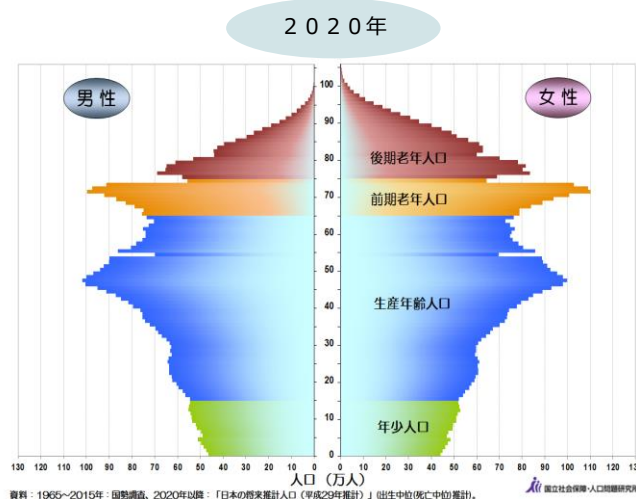
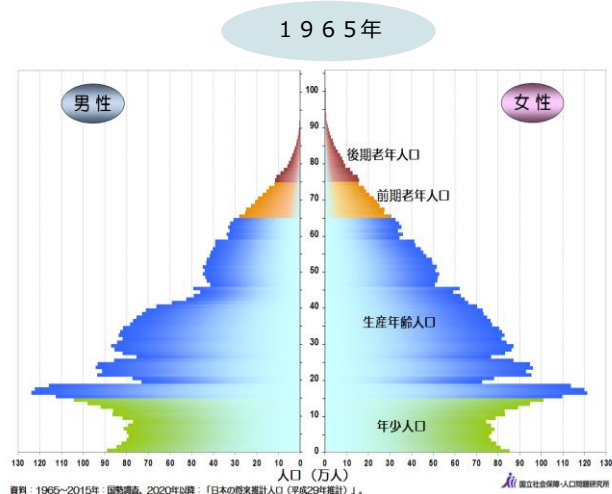
少子高齢社会に公的年金制度はどのように対応しているか調べてみよう。

回答欄

回答欄

# 少子高齢社会における公的年金制度

人口ピラミッドから何が分かるでしょうか。



少子高齢社会が公的年金制度に与える影響について考えてみよう。

少子高齢社会に公的年金制度はどのように対応しているか調べてみよう。

回答欄

(回答例)

少子化で子どもの数が減っていくので保険料を支払い年金制度を支える現役世代が減少する。

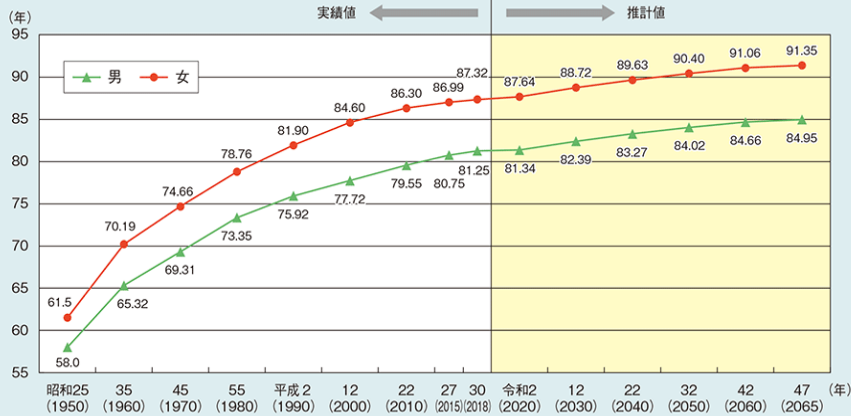
回答欄

(回答例)

年金制度を支える現役世代の負担を抑え、制度を持続可能にするため、保険料の上限を固定した上で給付水準を調整するマクロ経済スライドの仕組みを導入している。

# 人生100年時代のリスクについて考えよう

図1-1-4 平均寿命の推移と将来推計



資料：1950年は厚生労働省「簡易生命表」、1960年から2015年までは厚生労働省「完全生命表」、2018年は厚生労働省「簡易生命表」、2020年以降は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果  
 (注) 1970年以前は沖縄県を除く値である。0歳の平均余命が「平均寿命」である。

(出典) 令和2年版高齢社会白書

自分は何歳まで生きると思うか。

回答欄

老後の暮らしをどのように考えているか。

回答欄

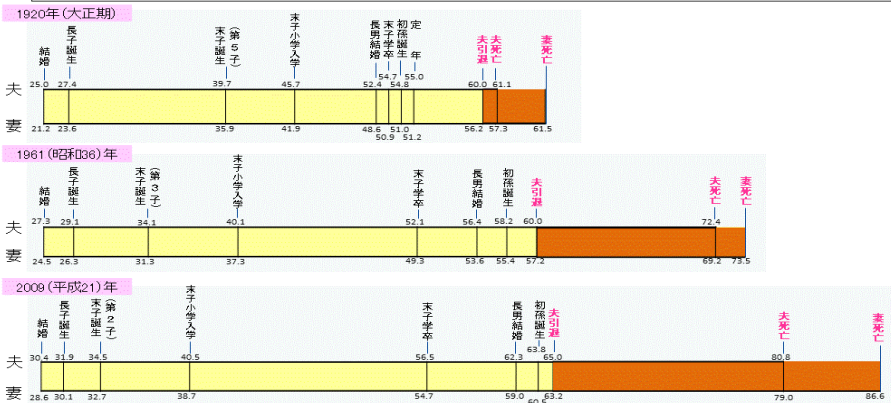
イメージした老後の生活費をどのように賄っていくか。

回答欄

## 統計でみた平均的なライフサイクル



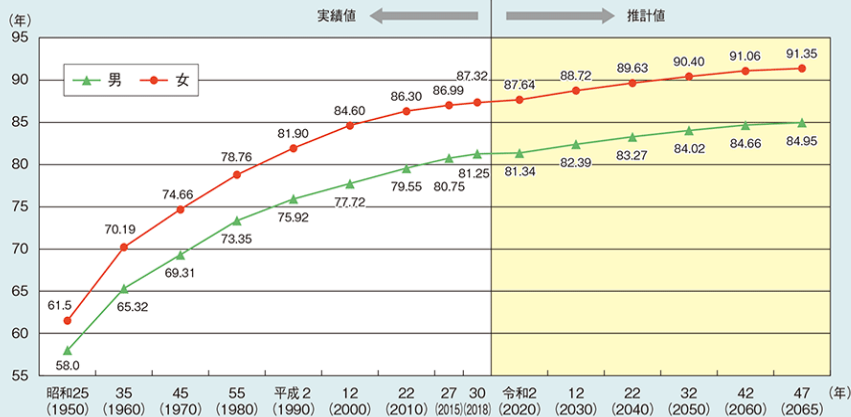
○子どもの数は減少する一方、平均寿命の延伸により引退後の期間が、長くなっている。



資料：1920年は厚生省「昭和59年厚生白書」、1961年、2009年は厚生労働省大臣官房統計情報部「人口動態統計」等より厚生労働省政策統括官付政策評価官室において作成。  
 (注) 価値観の多様化により、人生の選択肢も多くなっており、統計でみた平均的なライフスタイルに合致しない場合が多くなっていることに留意する必要がある。

# 人生100年時代のリスクについて考えよう

図1-1-4 平均寿命の推移と将来推計



資料：1950年は厚生労働省「簡易生命表」、1960年から2015年までは厚生労働省「完全生命表」、2018年は厚生労働省「簡易生命表」、2020年以降は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」の出生中位・死亡中位推定による推計結果  
 (注) 1970年以前は沖縄県を除く値である。0歳の平均余命が「平均寿命」である。

(出典) 令和2年版高齢社会白書

自分は何歳まで生きると思うか。

## 回答欄

(回答例)

- ・医療技術の発達や再生医療の進化のため、平均寿命程度は生きると思う。

老後の暮らしをどのように考えているか。

## 回答欄

(回答例)

- ・定年後はフルタイムではなく、就業時間を短くして、健康な限りは働きたい。ボランティアや趣味の時間を楽しみたい。

イメージした老後の生活費をどのように賄っていくか。

## 回答欄

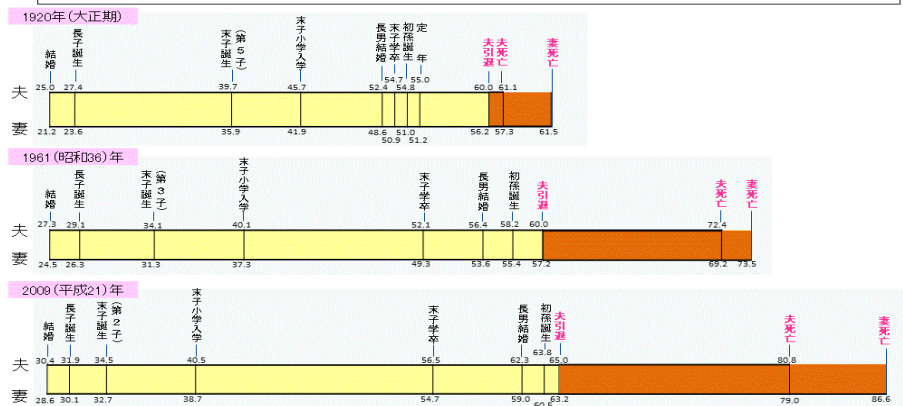
(回答例)

- ・「公的年金」を中心としつつ、「稼働所得」、「仕送り・企業年金・個人年金」、「財産所得」などを組み合わせ活用したい。

## 統計でみた平均的なライフサイクル



○子どもの数は減少する一方、平均寿命の延伸により引退後の期間が、長くなっている。



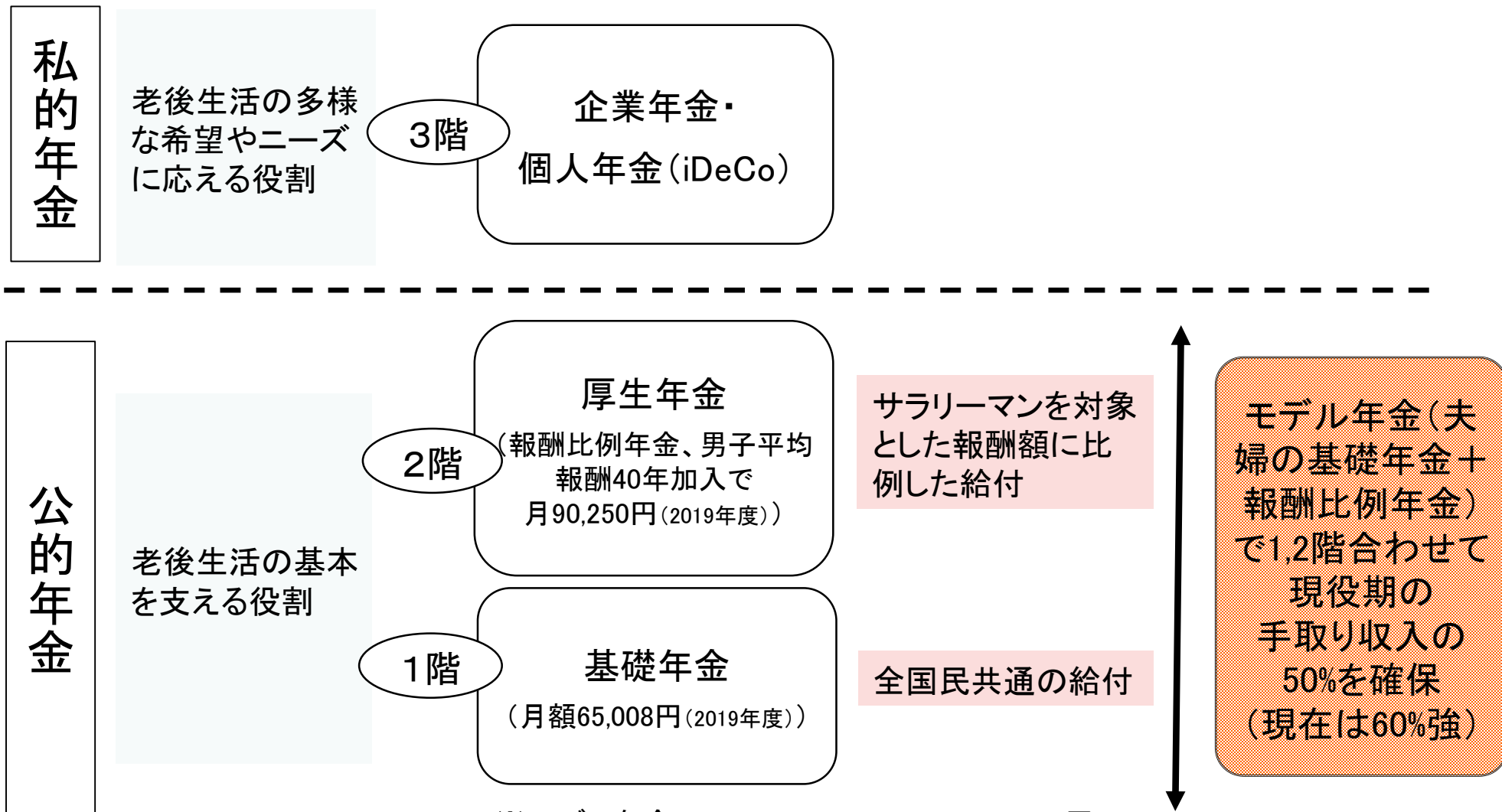
資料：1920年は厚生省「昭和59年厚生白書」、1961年、2009年は厚生労働省大臣官房統計情報部「人口動態統計」等より厚生労働省政策統括官付政策評価官室において作成。  
 (注) 価値観の多様化により、人生の選択肢も多くなってきており、統計でみた平均的なライフスタイルに合致しない場合が多くなっていることに留意する必要がある。

- 参考資料



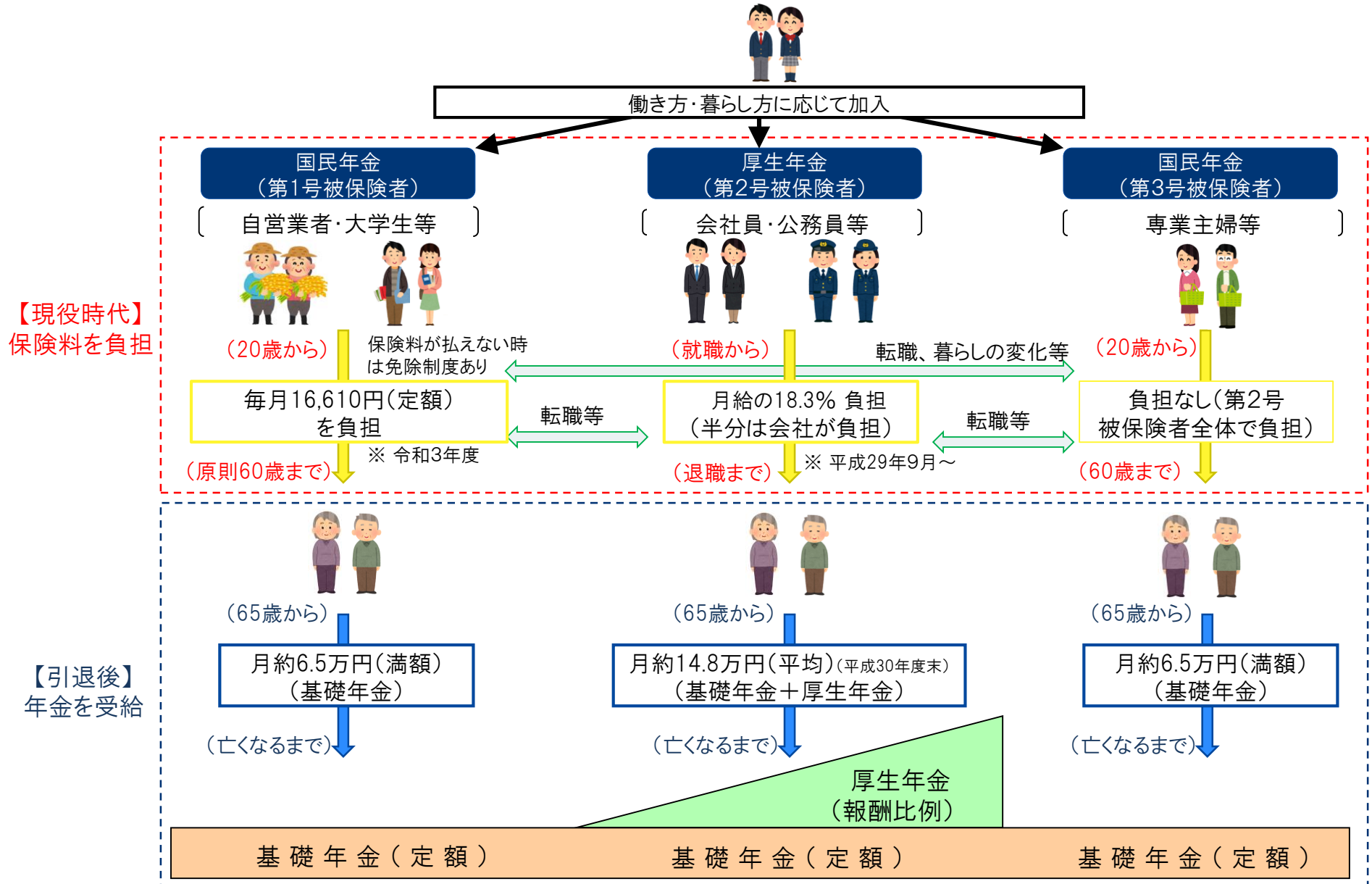
# 年金制度の設計の考え方

- 我が国の年金は、3階建ての構造。1・2階部分の公的年金が国民の老後生活の基本を支え、3階部分の企業年金・個人年金と合わせて老後生活の多様な希望・ニーズに対応。



※ モデル年金・・・ $65,008 \times 2 + 90,250 = 220,266$ 円

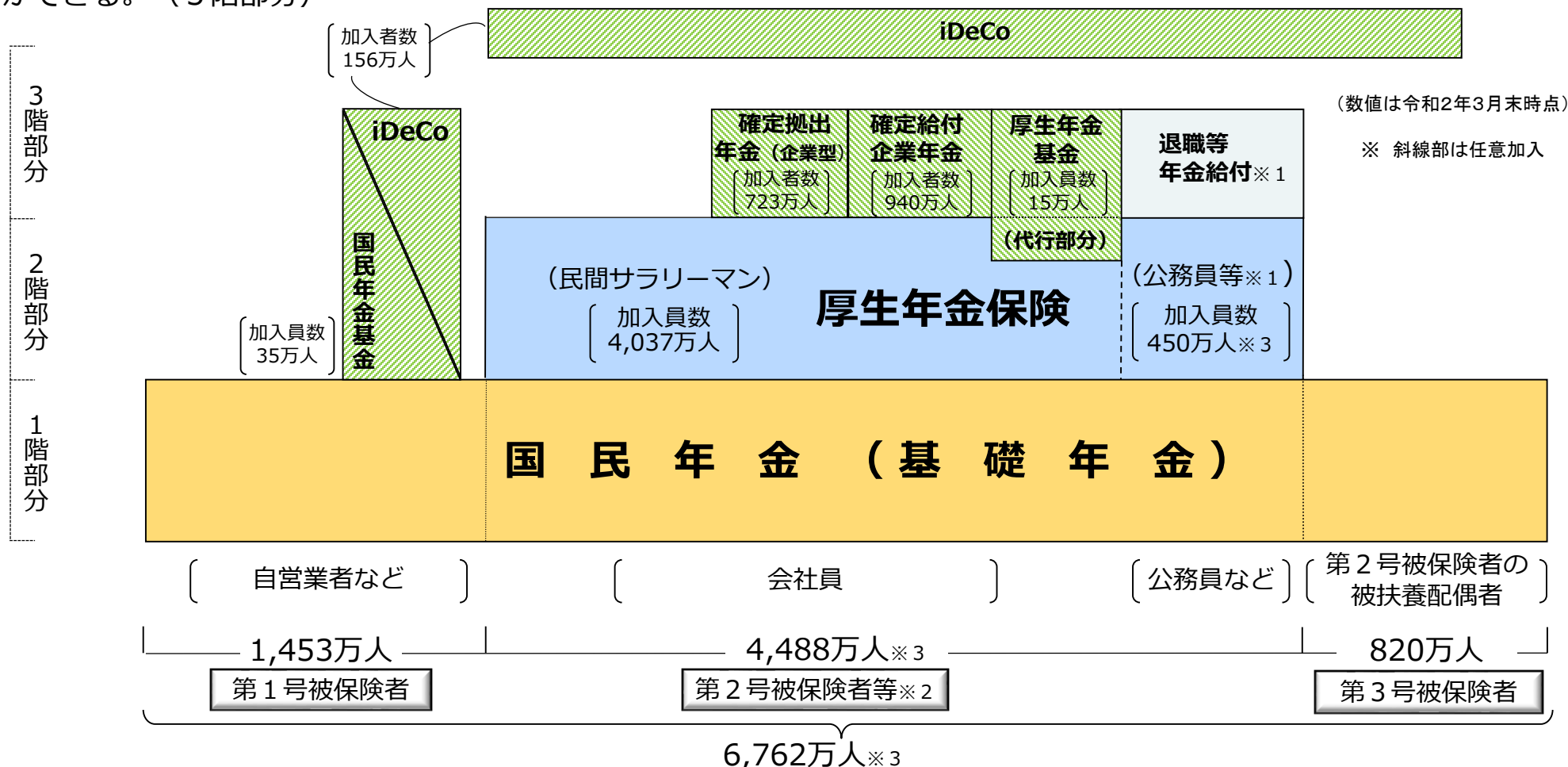
# 公的年金制度とライフコース





# 年金制度の仕組み

- 現役世代は**全て国民年金の被保険者**となり、高齢期となれば、**基礎年金**（定額の年金）の給付を受ける。（1階部分）
- 民間サラリーマンや公務員等は、これに加え、**厚生年金保険**に加入し、基礎年金の上乗せとして報酬比例年金（現役時代の報酬の額に比例して給付額が変わる年金）の給付を受ける。（2階部分）
- また、希望する者は、iDeCo（個人型確定拠出年金）等の**私的年金**に任意で加入し、さらに上乗せの給付を受けることができる。（3階部分）



※1 被用者年金制度の一元化に伴い、平成27年10月1日から公務員および私学教職員も厚生年金に加入。また、共済年金の職域加算部分は廃止され、新たに退職等年金給付が創設。

ただし、平成27年9月30日までの共済年金に加入していた期間分については、平成27年10月以後においても、加入期間に応じた職域加算部分を支給。

※2 第2号被保険者等とは、厚生年金被保険者のことをいう（第2号被保険者のほか、65歳以上で老齢、または、退職を支給事由とする年金給付の受給権を有する者を含む）。

※3 公務員等、第2号被保険者等及び公的年金全体の数は速報値である。

# 現在の公的年金制度について

公的年金は、現役世代が支払う保険料をその時代の年金給付に充てています。

そのため、

- ・支払われる年金額が**増えすぎないよう、自動調整する仕組み**が組み込まれ、
  - ・それを賄うための保険料は、**負担に上限が設定**されるなど、
- 将来にわたって安定した制度設計になるようにしています。

